

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	令和 2年9月11日13時30分 ~ 14時	場所	医師会館理事長室
----	------------------------	----	----------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
井澤 一成	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
小川 憲章	当該サービスに知見を有する者	小川メディカルクリニック 院長
栗山 慶美	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
大山 学 (欠)	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
石濱 千秋	計画作成者	
箕輪 善果	看護リーダー	
後藤 瑞佳	事務	
上條 由佳	事務	

4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1)活動内容について

意見:コロナ感染対策マニュアルを見直したり、介護保険制度の研修会のあり方も工夫していいと思う。

質問:登録者が、急に12人~15人に増えたのはなぜか?

⇒コロナの影響で、入院してしまうと会えなくなるので、在宅を選ばれた方もいた。

2)事例紹介

テーマ:医療的ケアの必要な独居高齢者の自立に向けた取り組み

支援概要:ナース来所時は、腰椎圧迫骨折と考えられ、体動もできず、日常生活ケア(注入・吸引・排泄・清潔など)は全介助状態だった。2月末には、強い痛みはコントロールされてきたが、恐怖心が強くベッドの角度も変えられない状況が続いた。その中でも、自己吸引や経管栄養の自己注入ができるように環境を整え、離床を促していった。3月末には、自己吸引や注入がある程度できるようになり、4月には歩行訓練を開始した。5月になり自宅に帰宅することを勧め、1泊から開始し、現在では3泊4日の帰宅が可能となった。

職員の迷い:元々自立心が強く、目標は一人暮らしに戻る事だった。ADLの拡大はできたが、今の生活がご本人の目指すものだったのか、現在、ご本人が今後の目標を明確に言語化できない状況の中で、支援する自分自身が目標を下げられないでいる。自分たちが支援することで、ご本人の自立心を妨げているようにも感じる部分がある。身体状況の変化に伴う、心情の変化もあると思うが、自身も家族介護をしながら、「億劫だ、面倒くさい、。」という身内をみているため、その姿と重なってしまい、心が揺れる。

意見:・看多機は、介護の中では初めて地域で過ごせるサービスで、訪問看護とはまた異なる。高齢独居の方にとっては居場所であり、生きていいんだと思えるように、誰かが、家族の役割を担う必要があるサービスなので、関わる人たちは悩むと思うが、大切な役割なので切磋琢磨してほしい。
・軽い人、重度の人ではサービスの頻度や内容が違うことも悩むと思うが、ケアについては軽い人のケアが重度に活かされたり重度のケアが軽い人に活かされたり、状況によっては変化するわけで、職員間でその辺りを共有してほしい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

上記、5. 活動状況に関する評価・意見・要望 と一緒に記載

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

2か月ごとの会議は、紙面会議やオンライン会議の方法もあるので、参加者に確認したが、次回も参集会議予定となった。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数(8月 31日現在)	女性 6名	男性 9名	計 15名
-----------------	-------	-------	-------

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1名	1名	1名	3名	9名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	8	0	14	8(訪問看護回数) 開始:8/3~
イ	0	0	0	1 入院:7/3~8/30
ウ	8	0	24	2
エ	8	0	0	3
オ	27	22	38	1
カ	8	0	42	5
キ	3	2	17	16 開始:8/11~
ク	8	0	8	4
ケ	31	27	6	7
コ	24	20	21	77
サ	27	23	6	7
シ	13	11	3	47 開始:8/17~
ス	20	16	2	58
セ	0	0	0	1 入院:7/20~8/31
ソ	9	1	22	0
タ				
チ				
ツ				
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	12.9	8.1	13.53	

4. 運営方針

事業所の目標	(法人の理念、長期目標、月間目標など) 【利用者の獲得】1.適切な職員の確保と黒字転換 2.「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」:その人の「生きる」を支える。寄り添い、理解し、尊重する
目標に向けた 具体的取組	1.求人活動と既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする 2.三蜜にならないような情報の共有を行う 3.利用者や家族の意向を反映した多職種でのケアプランの作成と共有を行う 4.地域に向けた研修計画の実施

5. 活動報告

【7月】 運営推進会議 安全衛生委員会・管理者会議 運営会議
【8月】 入職者オリエンテーション 安全衛生委員会・管理者会議 新型コロナウイルス感染症対策強化とマニュアル更新と伝達 運営会議 介護保険制度上必須研修内容を内容別に配布資料と小テストとし、代替研修として開始した。

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	無し
改善策	

内容	
改善策	

7. 地域への情報提供

特になし

8. その他特記事項

8月に看護1名入職あり。
